

## 編集部

## 「読みの応用力」をつける2つの工夫

改訂版で新しく取り入れた工夫のひとつが「リーディング・スキル」の導入です。単なる用語としてではなく、実際に役に立つスキルを重視して以下の2段階構えをとっています。

### ・各課の Keys to Reading

「いわゆるリーディング・ストラテジー以前に基礎体力としての文法力が必須」というご意見をうけて、各課の本文を通じて、「読解に特化した文法・構文の知識」の定着をはかるコーナーを設けました。具体的には、that の用法、省略、句読点など、文法の授業だけでは見落とされがちな項目を中心にしました。本文の例文と日本語説明、さらに当該構文の使用された入試長文問題を抜粋し、知識を実戦に即して応用していただけます。

### ・Active Reading コーナーの新設

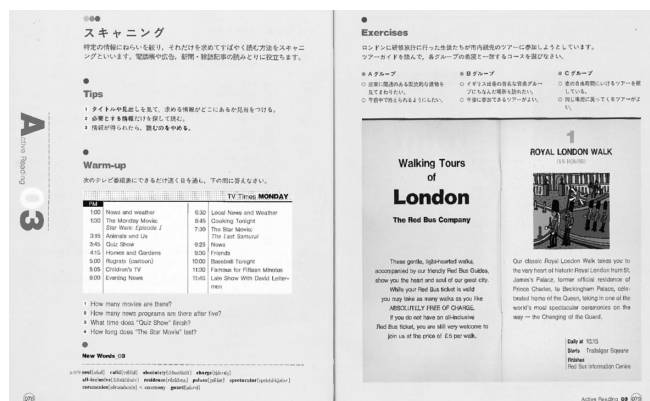
生徒が実生活で英文を読む場面は、少ないように実は多いとも言えます。たとえば、新聞・雑誌などはインターネットなどでも容易に入手できますし、旅行にあたってガイドで情報を収集する、海外の知人からの手紙を読むなど、増やそうと思えば英語にふれる機会はいくらでもあります。

本コーナーは、そうした場面を想定して、オーセンティックな英文にふれながら、効率よく英文を読むスキルを紹介するために設けられました。リーディング・スキルと一口に言っても、読む目的やメディアによって適材適所で用いる必要があるという考えからです。

たとえば、「パラグラフ・リーディング」の導入にはやや長めの新聞記事、「スキヤニング」には旅行用のガイドといった、自然にスキルを用いることのできる英文が選ばれています（図1参照）。

## 語彙力は読解力の要

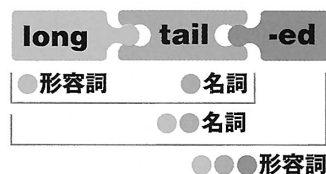
*Genius English Readings* が現行版から重視し



(図1)

てきた項目のひとつに「語彙力の養成」があります。語彙力は構文、リーディング・ストラテジーなどと共に長文を読みこなす最大の力となる一方で、語彙指導に困難を感じられる先生方も少なくないようです。

改訂版ではこれまでもあった Vocabulary のコーナーを図解等も加えてさらに充実することにより、語根や複合語など語形成をビジュアルで理解できるようにした（図2参照）ほか、巻末に「接頭辞・接尾辞一覧」を設けました。これは各課の Vocabulary を補充するものでもあります。ひとつひとつ単語を覚えるよりも、語根の意味などを理解することにより推測力をつけるのが効果的、との編集委員の意図を形にしたものです。従来の付録以上の効果を発揮してくれるものと思いますので、ぜひご活用下さい。



(図2)

教材、各コーナーとも、編集委員がこれまで以上に英知を結集し、生まれ変わった *Genius English Readings Revised* をぜひご一読下さい。